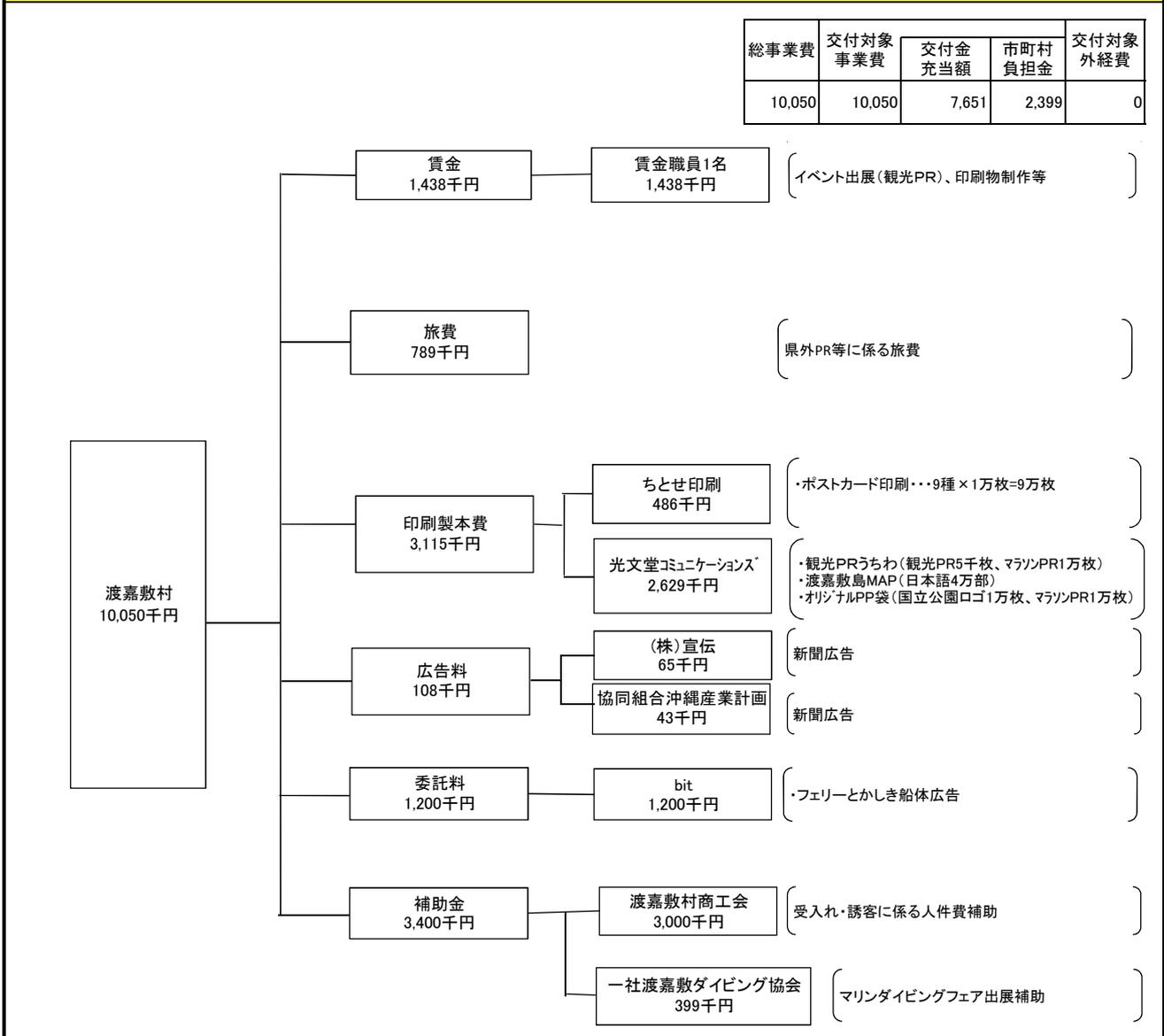


市町村名		渡嘉敷村					
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-① 渡嘉敷村観光客誘致促進及びPR促進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア		
担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24~33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興		
事業内容	継続的な観光振興を推進するため、県外からの修学旅行受け入れ活動の強化、県内外で開催される観光イベント等でのPR活動、広告媒体を活用した観光情報の発信及び外国人観光客に対応するため多言語観光パンフレットを印刷配布する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	7,103	6,640	13,965	11,176	
		(b) 予算現額	3,803	5,931	15,445	10,050	
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 3,300	▲ 709	1,480	▲ 1,126	
		(d) 繰越額	-	-	-	-	
		A. 計 (b+d)	3,803	5,931	15,445	10,050	
	B. 執行済額		3,803	5,931	15,445	10,050	
	うち交付金充当額		3,042	4,745	12,356	7,651	
	次年度繰越額		0		0	0	
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	100.0%	100%	100%	
予算の状況の説明		臨時職員の賃金及び印刷費の減により1,612千円を減額したが、印刷費の追加により482千円を流用で増額した。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・修学旅行PR事業展開(県外)	目標	( 8箇所 )	( 実施 )	( 20校 )	( PR実施 )	
		実績	8箇所	実施	18校	PR実施	
	・離島フェア等各種イベントで島のPR活動展開(県内外)	目標	( )	( )	( 5,000人 )	( PR活動展開 )	
		実績			5,000人	PR活動展開	
	・観光パンフレット(5言語)印刷、配付	目標	( )	( )	( 4言語4万部 )	( 5言語印刷配布 )	
		実績			5言語10万部	1言語印刷配布	
	・観光情報誌等への広告掲載	目標	( )	( )	( 1誌 )	( 広告掲載 )	
		実績			1誌	未実施	
達成状況説明		・修学旅行PR事業展開(県外)・・・商工会に臨時職員1名の人件費を補助し、港待合所での観光案内のほか修学旅行受け入れ対応及び新規誘致活動を実施した。JTB西日本教育旅行支店をはじめとする関西地区旅行社21社2校及び、JTB熊谷支店をはじめとする関東地区旅行者28社2校を訪問し、修学旅行誘致のためのPRを実施した。 ・商工観光課において臨時職員1名を採用し、ソニアクリアムや、とまりんフェスタ、離島フェアなどのイベントに出展し貝殻ストラップづくり体験コーナーを運営し、フェイスブックで情報発信し渡嘉敷島をPRした。 ・那覇市内で開催されたとまりんフェスタ、離島フェア、東京で開催された離島コンテンツフェア、SONYアクアリウム、アイランダー2016にて観光MAP18,600部、ポストカード32,400枚、マラソンPR袋8,500枚、マラソンPRうちわ9,000枚を配布した。 ・渡嘉敷島MAP日本語版4万部を印刷したが、外国語版については、当初見込みより利用が少なく前年度印刷分で足りたため増刷しなかった。 ・観光情報誌への掲載を予定していたが、発刊が翌年度となることから事業を見送った。					
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年	27年度	目標値(年度)
	・県外高校修学旅行受け入れ数	目標	( )	( )	( 20校 )	( 20校 )	( )
		実績		15校	18校	14校	
	・離島フェアブース来場者数	目標	( )	( )	( )	( 3,000人 )	( )
		実績				3,000人	
	・アイランダーブース来場者数	目標	( )	( )	( )	( 2,000人 )	( )
		実績				2,000人	
	進捗状況説明		・修学旅行については、受け入れ目標を20校と設定したが、民泊への移行や渡航先の海外への変更などにより本年度は15校の受け入れとなったが、うち1校は台風のためキャンセルとなり14校の実績となった。 ・11月に沖縄本島で開催された離島フェアでは、3日間でブース来場者に観光MAP3,000部のほかポストカード9,000枚を配布し、東京都池袋で開催されたアイランダーにおいては、2日間でブース来場者に観光MAP2,000部のほかポストカード4,500枚を配布し、渡嘉敷島の認知度向上に繋がった。				

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・夏場には多くの観光客が島を訪れるが、例年秋から冬にかけては閑散期となるため、この時期に修学旅行の受入れに取り組んでおり、平成24年度の15校から平成26年度には18校にまで増加したが、本年度は14校の実績となった。減少した要因として、3年周期で実施している学校があるほか、民泊への移行や海外への渡航先変更や等により減少している。</p> <p>・離島フェアにおいては、那覇から高速船で35分で訪れることができる那覇から近い島であることをアピールし、貝殻ストラップづくり体験をとおして来場者との交流を図った。</p>	<p>・少子化により生徒数が減少する中、修学旅行の誘致も厳しい状況にあるが、島の魅力ある体験メニューの充実や、要望に合わせた船舶運航の柔軟な対応に努め、受け入れ増加を図る。</p> <p>・印刷物等については、観光客の要望に応えられるよう、新しい情報を取り入れ校正する。</p>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<p>修学旅行及び国内観光誘客については、未開拓地域へのPR活動を実施し、地元の魅力を生かした特色ある体験メニューの開発及び実施時の安心安全の確保に努め、修学旅行については天候の安定する5月から6月にも誘致も行う。また、とかしきマラソン参加者の安定確保のため、国内観光客の誘客に努める。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

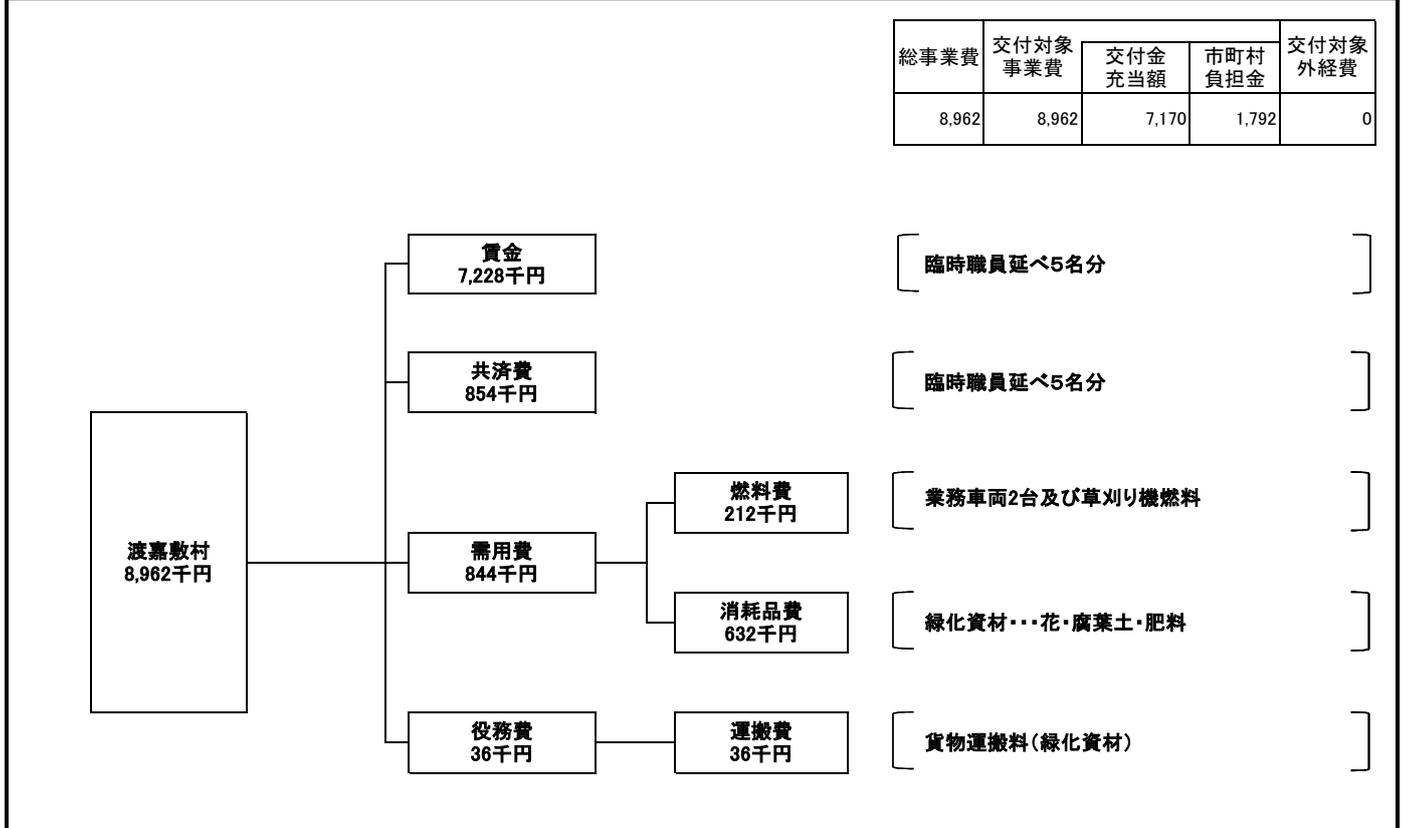


資金の流、費用の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は企画コンペで選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○当初予算から賞金で540千円、印刷費で800千円減額したが予定していた業務及び印刷物は確保し適正な規模であったと考えている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である商工会は総事業費の2割を負担しており、また、ダイビング協会についてはパンフレット及びオリジナル封筒の制作配布を行っており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。
	○	費用・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費用、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名		渡嘉敷村					
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②		渡嘉敷村環境美化清掃事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
	担当部課名	商工観光課		事業実施(予定)年度	平成24~33年	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備 Ⅲ-1-(1)
事業内容	観光地としてのイメージアップを図るため、村内の海浜、道路、公園などの清掃作業及び花木等の植栽を実施し、景観浄化に努める。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	5,100	27,435	11,303	9,680	
		(b)予算現額	5,454	32,370	11,303	8,962	
		(c)増減額(b-a)	354	4,935	0	▲718	
		(d)繰越額	-	-	-	-	
		A.計(b+d)	5,454	32,370	11,303	8,962	
	B.執行済額		5,454	32,370	7,467	8,962	
	うち交付金充当額		4,363	25,898	5,974	7,170	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	66.1%	100%	
予算の状況の説明		当初見込みよりも作業時間が減となる見込みであることから、燃料、消耗品の購入が減となるため、需用費187千円と、保険料の支払いについて減が見込まれることから、共済費412千円を減額した。一方で、賃金職員の単価見直しにより単価を増額したことから賃金29千円を増額するとともに、購入した消耗品を島に運ぶために必要な運搬費40千円を増額した。このことにより、3月の計画変更で合計530千円の減額した。 また、悪天候等のため、当初見込みよりも作業時間が減となる見込みであることから、精算時に作業員の賃金188千円を減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	観光地及びその周辺の公衆トイレ清掃、除草等の清掃作業 8箇所	目標	( 8箇所 )	( 8箇所 )	( 8箇所 )	( 8箇所 )	
		実績	8箇所	8箇所	8箇所	8箇所	
		目標	( )	( )	( )	( )	
実績							
達成状況説明	作業員を5名雇用し、渡嘉敷港旅客待合所、渡嘉志久海岸公園、照山園地、阿波連漁港、阿波連園地の公衆トイレの清掃や、渡嘉志久海岸公園及び照山園地、阿波連園地の清掃・除草作業を周年実施した。また、港待合施設にブーゲンビリアの鉢植えを配置し、観光案内休憩所周辺にはペゴニアやインパチェンスなど季節の花々を植栽し開花させた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	環境整備の行き届いた美しい観光地の形成	目標	( )	( 8箇所 )	( 8箇所 )	( 美しい観光地の形成 )	( )
		実績		8箇所	8箇所	美しい観光地の形成	
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
進捗状況説明	公衆トイレや園地の清掃・除草作業を周年実施することで、年間通して綺麗な状態を維持することができ、環境整備の行き届いた美しい観光地の形成につながった。また、村の玄関である港待合所の職員に観光客から、「トイレ・シャワーの清掃が行き届いていた・綺麗だった」との声が寄せられた等の報告があった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・炎天下での屋外作業が多いため、余裕をもった作業を安全に行えるよう作業人員の確保を行う。</li> <li>・雨天時、屋外作業が止まってしまい作業工程に遅れることがある。</li> <li>・ビーチや自然が綺麗でも、トイレや観光施設が不衛生であれば大きなマイナスイメージとなる。定期的な清掃を行い衛生的な環境を維持することによって、リピーターやクチコミによる観光客増加を促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人員の確保について呼びかけを行う。</li> <li>・雨天時でも別作業、または作業準備を行えるスペースを確保することによって、作業効率の低下を防ぐ。</li> </ul>
<b>今後の取り組み方針</b>		
観光客が利用する施設(旅客待合所・トイレ・シャワー)の清掃を行い観光地としてのイメージアップを図る。美しい観光地づくりのため作業人員及びスペースを確保し、引き続き美化清掃活動を行う。		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



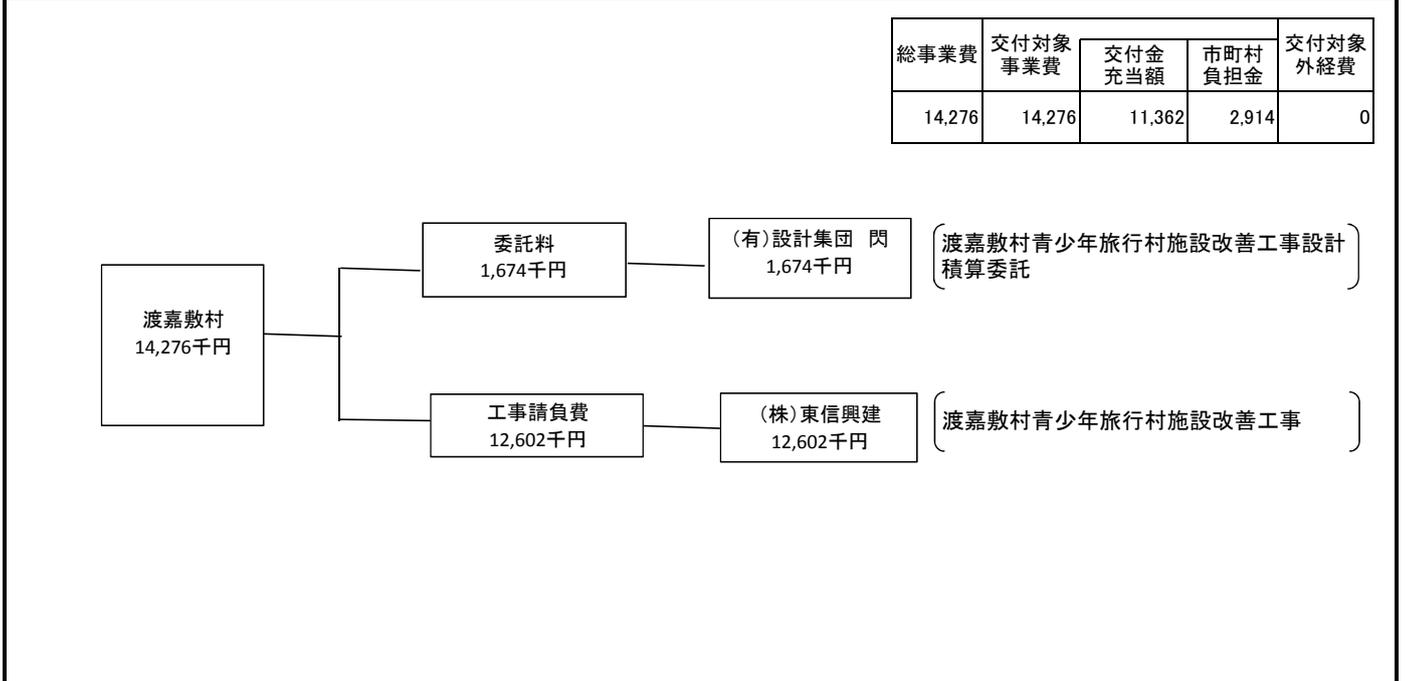
資金の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○作業員は村内において公募により採用しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、共済費を作業員5名分計上していたが、内2名は負担対象外であったため減となった。また悪天候からの作業時間の短縮によって作業員賃金が減額となったが、予算規模は適正だったと考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	渡嘉敷村						
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③ 渡嘉敷村観光施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア		
担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成26~27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興		
事業内容	観光客等利用者の利便性の向上及び施設内の安全確保を図るため、渡嘉敷村青少年旅行村施設内の歩道、照明設備の設置・改修、トイレ改修等を整備する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	23,720	14,430			
		(b) 予算現額	23,720	14,276			
		(c) 増減額 (b-a)	0	▲ 154			
		(d) 繰越額	-	-			
		A. 計 (b+d)	23,720	14,276			
	B. 執行済額		7,302	14,276			
	うち交付金充当額		5,842	11,362			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率 (%) (B/A)		30.8%	100.0%			
予算の状況の説明		当初、照明設備工事、更衣室建具改修及びトイレ洋式化工事を分割して発注する予定であったが、一括して設計、発注したことにより当初比較228千円の減となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	村青少年旅行村照明設備改善工事	目標	( 実施 )	( )	( )	( )	
		実績	実施				
	村青少年旅行村トイレ更衣室建具改修工事	目標	( 実施 )	( )	( )	( )	
		実績	実施				
	村青少年旅行村トイレ改善(和式→洋式3器)工事	目標	( 実施 )	( )	( )	( )	
実績		実施					
達成状況説明	・村青少年旅行村照明設備・・・園路灯15基、多目的広場照明9基を設置した。 ・村青少年旅行村トイレ更衣室建具改修・・・更衣室4室及びトイレ5室のアルミ建具に改修した。 ・村青少年旅行村トイレ改善・・・和式便器3器を様式に取換えた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	観光関連施設活用に向けた利便性の向上、安全性の確保	目標	( )	完了	( )	( )	( )
		実績		完了			
		目標	( )		( )	( )	( )
		実績					
	進捗状況説明	一般家庭及び公共施設での洋式トイレの普及に伴い、青少年旅行村施設内トイレを洋式へ改修し、更衣室及びトイレの木製建具を、水洗いができ清潔感のあるアルミ建具に改修したほか、多目的広場照明設備設置により、イベント開催に必要な明るさを確保し、園路照明の設置によるハブ咬傷被害対策など、観光関連施設の活用促進及び、利便性向上や安全性が確保された。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	修学旅行生等が夜間にバーベキューや体験イベントで利用する多目的広場の利便性向上や安全確保の観点から、トイレ施設の改修や照明設備の設置なぞ観光施設の改善を実施してきたが、屋外ステージに屋根がないため予定通りにイベントが開催できないなど、改善を望む声があるほか、阿波連ビーチ近辺に雨天時や日照を避けて休憩する施設や乗客の待合施設がなく利用者や地域事業者及び議会においても改善を望む声がある。	バス乗客等が、雨天時や日照を避けて待合できる施設がなく、観光客に不快な思いをさせている。また屋外イベントでは、雨天のため中止することもあり誘客には不利な状況があるため、利用者の安心安全を確保し更なる誘客を図る上で、これらの状況を改善し、また、トイレ・シャワー施設のバリアフリー化など利用者の利便性向上を図る必要がある。

今後の取り組み方針
・利用者の安全確保及び利便性向上の観点から、経年劣化等老朽化した施設の長寿命化対策と改善を行う必要がある。平成28年度には、青少年旅行村管理棟の一部を車いすのまま利用できるトイレ・シャワー室に改修し、管理棟前に屋根を設置しバス乗客等の待合施設として提供する。また、屋外ステージに屋根を設置しイベント開催時の安定利用を図る。平成29年度以降は、雨天時でもバーベキューなどが行える利便施設の整備や老朽化した観光案内休憩所・渡嘉志久トイレシャワー施設の改修が必要である。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

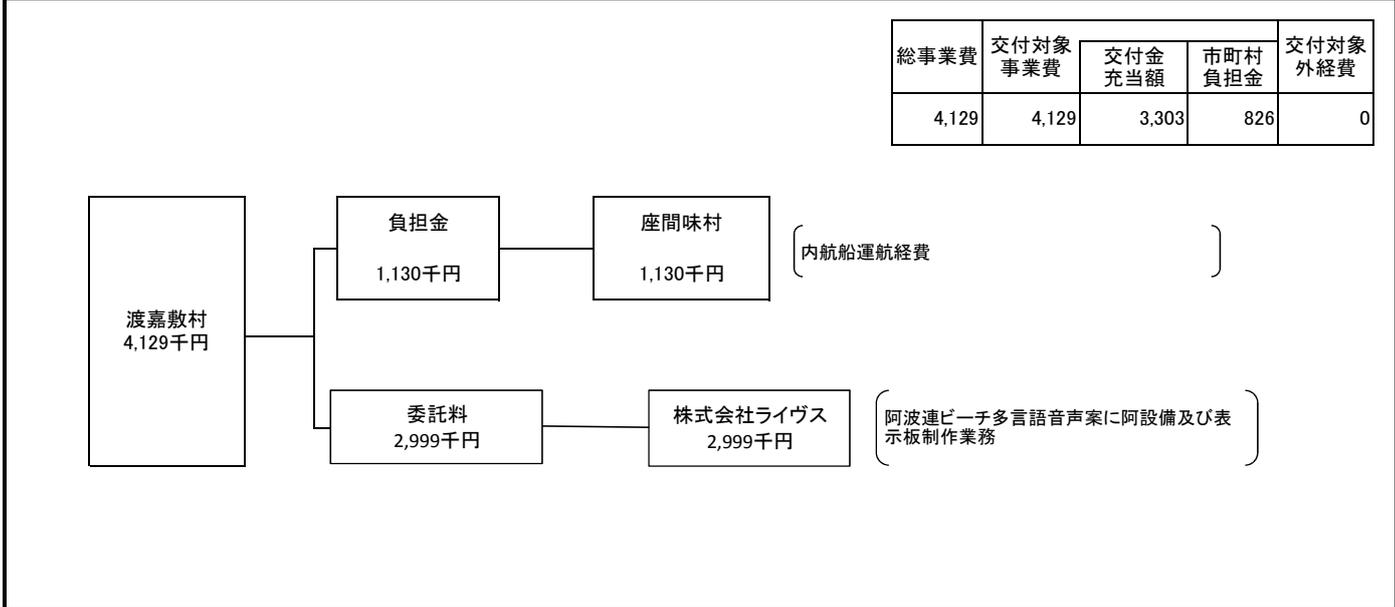


資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○請負業者は指名競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。</p> <p>○費目、用途については完成段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		渡嘉敷村					
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④ 渡嘉敷村観光受入体制整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア		
	担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度		平成26~33年度	観光リゾート産業の振興	
事業内容	観光客受け入れ体制整備のため、慶良間諸島間内航船運航を実施し、交通手段を確保する。また、増加傾向にある外国人入域者への対応として、ビーチ利用時の注意呼びかけ等を案内し、安心・安全に利用できる多言語音声案内及び表示板の整備を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	9,087	4,287			
		(b) 予算現額	7,956	4,129			
		(c) 増減額(b-a)	▲ 1,131	▲ 158			
		(d) 繰越額	-	-			
		A. 計(b+d)	7,956	4,129			
	B. 執行済額		7,956	4,129			
	うち交付金充当額		6,364	3,303			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%			
予算の状況の説明		多言語音声案内設備及び表示板制作については当初2,500千円であったが、屋外用スピーカーを設置する既設木柱の埋設部分が腐食し使用できないため、新たにコンクリート柱を追加するなど500千円を補正し実施したが、内航船運航事業が計画を下回ったためトータルで158千円の減額となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	渡嘉敷~座間味内航船運航	目標	( 実施 )	( 運航 )		( )	
		実績	実施	運航			
	多言語音声案内設備及び表示板制作	目標	( )	( 制作 )		( )	
実績			制作				
達成状況説明		4月から3月の間、渡嘉敷から座間味間の内航船を運航し、478便の3,803人の旅客輸送の実績があった。また、阿波連ビーチ周辺に多言語(日本語、英語、中国語、韓国語)によるビーチ利用者への音声案内設備及び、案内表示板4基を制作設置した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
	内航船運航開始による慶良間諸島周遊観光の利用者数	目標	( )	( 3,000人 )	( 4,000 )		( )
		実績		3,115人	3,803人		
	・阿波連ビーチでの利用案内の周知設備の確保	目標	( )	( )	( 設置 )		( )
		実績			設置		
		目標	( )	( )	( )		( )
		実績					
		目標	( )	( )			
実績							
進捗状況説明		慶良間諸島間内航船事業の実施により3,803人の観光客の利便性に貢献出来た。阿波連ビーチ利用者へ、利用上の注意事項や遵守事項などを多言語(日本語、英語、中国語、韓国語)音声で案内する設備及び、立て看板を制作設置し、利用者の安全安心確保に一定の効果を得られたと考える。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	慶良間諸島間内航路事業については、目標値に達しなかったが、周知を徹底したことにより利用者の増加に繋がった。 外国人観光客受け入れ対応として、阿波連ビーチ利用時の注意事項等を多言語音声案内設備及び多言語案内看板を制作設置し、一定の効果を得られたと考えるが、平成26年度に入域した外国人は約16カ国9,324人から、平成27年度には約22カ国17,841人に急増しており、これまでに整備した言語以外の言語の外国人も増える傾向にあり、このことへの対応も課題である。	慶良間諸島間内航船利用者増のため更なる周知方法を検証する。 外国語については、入域者数の多い3言語で制作したが、入域する外国人すべてに対応するのは困難であるため、イラストやピクトグラムを利用し対応していく必要がある。
慶良間諸島間内航路事業においては、利用者の順調な推移から、次年度からは単費による継続事業とする。 英語や中国語での案内ができる人材を配置し、増加する外国人観光客の受け入れ体制向上に努める。既存観光MAPや、平成28年度に制作するガイドブックにおいて、各種注意事項などをイラストやピクトグラムで表示し、増加する外国人入域者の安全安心の確保を図る。		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、費目・点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流れ、費目・点検評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○備品整備の委託事業者は企画コンペで選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の1%以内であり適正な規模であり、費目、用途については完成検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		渡嘉敷村					
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤		渡嘉敷村交通コスト負担軽減事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ア	
	担当部署名	総務課		事業実施(予定)年度	平成25~33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	交通・生活コストの低減
事業内容		渡嘉敷村営定期船の欠航、または予定運航時刻に変更が生じた場合の補完的移動手段として、那覇空港~渡嘉敷ヘリポート間のヘリコプターチャーター便の利用者に対し、料金の半額を支援する。					Ⅲ-1-(1)
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )					
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
		(a)当初予算額	2,079	3,300	3,300		
	(b)予算現額	2,970	3,300	2,100			
	(c)増減額(b-a)	891	0	▲1,200			
	(d)繰越額	0	0	0			
	A.計(b+d)	2,970	3,300	2,100			
	B.執行済額	2,160	1,080	1,710			
	うち交付金充当額	1,728	864	1,368			
	次年度繰越額	0	0	0			
	執行率(%) (B/A)	72.7%	32.7%	81.4%			
予算の状況の説明		当初積算見込みよりも、ヘリコプターチャーター回数が減となることから1,200千円減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	チャーターヘリ利用者に対する運賃支援	目標	( 利用人数:385人 )	( 110回 )	( 支援 )	( )	
		実績	利用人数:277人	42回	支援		
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	渡嘉敷村営定期船が欠航、または予定運航時刻に変更が生じた場合に、57回のヘリコプターチャーター利用者に料金の半額を支援した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	運行回数及び搭乗人数	目標	( )	( 385人 )	( 110回 385人 )	( 110回 385人 )	( )
		実績	/	277人	42回 126人	57回 175人	/
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績	/				/
	進捗状況説明	今年度は村営定期船のフェリーが27便と、高速船が175便欠航した事に伴い、「渡嘉敷村交通コスト負担軽減事業」が活用されヘリチャーターが57便の175人の利便性向上に繋がった。しかし、今年度は好天候に伴い予想していた以上の欠航率を下回ったことから目標達成までには至らなかった。					

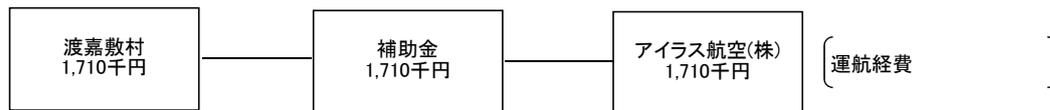
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	ヘリコプターチャーター料金を半額補助することにより、住民の福祉及び観光客の利便性の向上に繋がったが、今年度は好天候に伴い目標値を大きく下回った事から再度、船舶の欠航等目標値の基礎となる情報の見直しが必要である。	更なる利用者増のため、周知方法を更に検証する他、観光関連事業者からの当事業に対する意見等を検証する。

今後の取り組み方針

渡嘉敷島への第一歩となる那覇連絡事務所のチケット売場で「渡嘉敷村交通コスト負担軽減事業」の周知を図る。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
1,710	1,710	1,368	342	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定については、アイラス航空(株)の1社のみが事業社として参入しているため妥当と考える。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、これまでの実績から削減することを検討する。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者との負担関係は、運航経費の半額を適正に補助している。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で適正的確かの確認作業を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名	渡嘉敷村						
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2	渡嘉敷村農地保全事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-イ	
担当部署名	経済建設課	事業実施(予定)年度	平成24～平成33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	農林水産業の振興 Ⅲ-9	
事業内容	イノシシによる農作物への被害拡大を防ぎ、農家に安心安全に農産物を生産させ、農家の生産意欲を衰退させないため、イノシシの捕獲駆除を引き続き実施する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,664	1,250	400	800	
		(b) 予算現額	4,664	1,250	400	400	
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	▲ 400	
		(d) 繰越額	-	-	-	-	
	A. 計 (b+d)		4,664	1,250	400	800	
	B. 執行済額		4,099	1,133	394	397	
	うち交付金充当額		3,279	906	315	317	
	次年度繰越額		0	0	0	0	
	執行率 (%) (B/A)		87.9%	90.6%	98.5%	49.6%	
予算の状況の説明		当初計画にあった、箱罠購入を見送ったことなどにより403千円の不用が生じた。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	H27活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	イノシシの捕獲駆除実施	目標	( 捕獲器8器、巡回車両1台購入 )	( イノシシ餌付け用餌、巡回用バイク2台購入 )	( ノシシ餌付け用餌購入 )	( 120頭 )	
		実績	捕獲器8器、巡回車両1台購入	イノシシ餌付け用餌、巡回用バイク1台購入	ノシシ餌付け用餌購入	119頭	
			目標	( )	( )	( )	
			実績				
達成状況説明	箱罠を21器設置し、従事者(狩猟免許所持者)11名にて駆除活動を行い、119頭の捕獲を行った。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	イノシシによる農作物被害件数	目標	( )	( 10 )	( )	( )	( )
		実績		17			
			目標	( )	( )	( )	( )
			実績				
	進捗状況説明	成果目標を達成。これまではいも類の被害が見受けられていたが、今年度より水稻への被害も増えた。平成28年度に一部の耕作地でイノシシ用防除柵を設置し防除効果を検証する。					



市町村名		渡嘉敷村								
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】										
事業番号・事業名	3-①	小学校学習支援員配置事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ						
担当部課名	教育委員会 教育課	事業実施(予定)年度	平成24~33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上					
事業内容	村内2校の小学校は、児童数の減少により複式学級となっているが、子ども達の学力向上の推進及び教職員の負担を軽減するため、学習支援員を配置する。									
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )									
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度			
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,260	3,744	4,644	2,444				
		(b) 予算現額	1,260	4,419	4,644	2,392				
		(c) 増減額(b-a)	0	675	0	▲52				
		(d) 繰越額	-	-	-	-				
		A. 計(b+d)	1,260	4,419	4,644	2,392				
	B. 執行済額		750	3,965	1,431	2,309				
	うち交付金充当額		600	3,172	1,144	1,847				
	次年度繰越額		0	0	0	0				
	執行率(%) (B/A)		59.5%	89.7%	30.8%	96.5%				
予算の状況の説明		予定していた学習支援員の住宅借上が不要となったことなどから3月の事業計画変更で52千円を減額した。不用額83千円については実績による勤務時間数の減によるものである。								
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況							
			24年度	25年度	26年度	27年度				
	学習支援員配置 渡嘉敷小学校 1名 阿波連小学校 1名		目標 ( 1名 )	( 2名 )	( 2名 )	( 2名 )				
			実績 1名	2名	2名	2名				
		目標 ( )	( )	( )	( )					
		実績								
達成状況説明		4月から3月まで渡嘉敷小学校、阿波連小学校に支援員を配置した。複式学級である渡嘉敷小学校の3・4年及び阿波連小学校の3・4年、5・6年の算数と国語の授業や、他の支援を要する学級で授業を支援したことで、児童の学力向上や教職員の負担軽減が図れた。								
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)			
	村内小学校への支援者派遣率		目標	( )	( 100% )	( 100% )	( 100% )	( )		
			実績		100%	100%	100%			
	児童生徒の学力を全国水準に高める (全国学力・学習状況調査における無回答率を半減させ、正答率40%未満の児童の割合を無くし、個人差を10ポイント以内に改善する)		無回答率	目標	( )	( )	( )	( 3.0% )	( )	
			実績					1.3%		
			正答率40%未満の児童の割合	目標	( )	( )	( )	( )	( 0.0% )	( )
			実績						6.7%	
			個人差10ポイント以内	目標	( )	( )	( )	( 21.1% )	( )	
			実績					3.9%		
	進捗状況説明		渡嘉敷小学校、阿波連小学校への支援者派遣率100%を達成している。全国学力・学習状況調査結果より、H24の平均正答率67.1%に対しH27が81.5%と14.4%上昇し、H24から毎年全国平均ポイントを上回っている。H26と比較して無回答率は3.0%から1.3%と半減し、正答率40%未満の児童の割合は8.3%から6.7%に減少したものの、目標である0%は達成できなかった。また、個人差についても21.1%から3.9%となったことで▲17.2%の改善となり目標は達成している。							

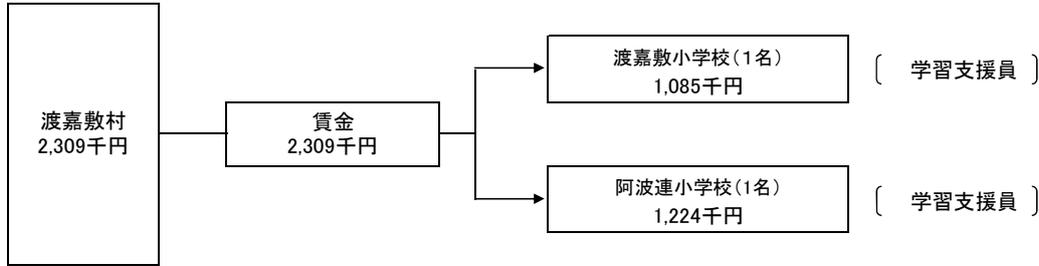
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	全国学力・学習状況調査結果より、学習支援員を配置したことで児童の学力向上に繋がった。 複式学級等で担当教諭と学習支援員2人体制での授業環境により、教諭の負担軽減が図れた。	学級担任との連携を図りながら個別指導の時間が充実するなど、よりきめ細やかな指導を行った結果、全国学力・学習状況調査結果より、H24の平均正答率67.1%に対しH27が81.5%と14.4%上昇し、H24から毎年全国平均ポイントを上回っているが、今後も授業環境の向上を図りながら引き続き個別指導を充実させ、個人差を縮小し平均正答率を70.0%台に維持するよう努める。

**今後の取り組み方針**

複式学級等における担当教諭と学習支援員による授業環境の向上により、子ども達の更なる学力向上を図っていくため、学習支援員の配置体制を維持する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,309	2,309	1,847	462	0



資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○学習支援員の選定は公募等による選考採用を行っており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、賃金の時給算定を臨時職員等の給与に関する規則及び資格等を考慮し行っており、妥当であったと考える。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途について、賃金は出勤簿等で管理をし臨時職員等の給与に関する規則に基づき、事業目的達成の観点から必要なものを支給していたため、妥当であったと考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		渡嘉敷村									
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】											
事業番号・事業名	3-③		児童・生徒派遣支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア					
	担当部課名	教育委員会 教育課		事業実施(予定)年度		平成25~33年度	教育機会の拡充				
				沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)						
事業内容		村外で実施されるスポーツ大会や文化事業発表会などの各種教育活動に参加し、小規模校では体験出来ない貴重な経験を積むことにより、離島の教育的なハンディを克服する。									
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )									
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	25年度		26年度		27年度		28年度		29年度	
		(a)当初予算額	1,992	2,477	3,269						
		(b)予算現額	1,992	2,477	3,269						
		(c)増減額(b-a)	0	0	0						
		(d)繰越額	-	-	-						
	A. 計(b+d)		1,992	2,477	3,269						
	B. 執行済額		1,455	1,910	2,220						
	うち交付金充当額		1,164	1,528	1,776						
	次年度繰越額		0	0	0						
	執行率(%) (B/A)		73.0%	77.1%	67.9%						
予算の状況の説明		不用額1,049千円については、大会への派遣期間の短縮や荒天による船舶の欠航により派遣を取り止めた大会があったことで派遣人数の減少により派遣費が縮減したものであり、当初計画していた事業内容は概ね実施した。									
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況								
			25年度	26年度	27年度	28年度					
	各種スポーツ大会及び文化活動派遣 小学校 2校・中学校 1校	目標	( 3校 )	( 3校 )	( 3校 )	( )					
		実績	3校	3校	3校						
		目標	( )	( )	( )	( )					
実績											
達成状況説明	離島小規模校の教育的なハンディである少人数で競争意識が弱い傾向であったが、渡嘉敷小学校と阿波連小学校及び渡嘉敷中学校の児童・生徒が、村外で実施されたスポーツ大会や文化事業発表会などの各種教育活動に参加し、小規模校では体験出来ない貴重な経験を積むことができたことで、競争意識が弱い傾向の克服に繋がり活動目標は達成している。										
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(25年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)				
	派遣児童・生徒数(累計):210人	目標	( )	( 195人 )	( 185人 )	( 210人 )	( )				
		実績		100人	167人	173人					
		目標	( )	( )	( )	( )	( )				
		実績									
進捗状況説明	地区大会から県大会等上位への進出に伴う派遣人数の減少や荒天による船舶の欠航により派遣を取り止めた大会があったことにより、当初目標に対して▲37人となり成果目標を達成できなかった。しかし、3校の児童・生徒全員が、村外で実施されたスポーツ大会や文化事業発表会などの各種教育活動に参加し、小規模校では体験出来ない貴重な経験を積むことができたことで、離島の教育的なハンディである競争意識が弱い傾向の克服に繋がった。										

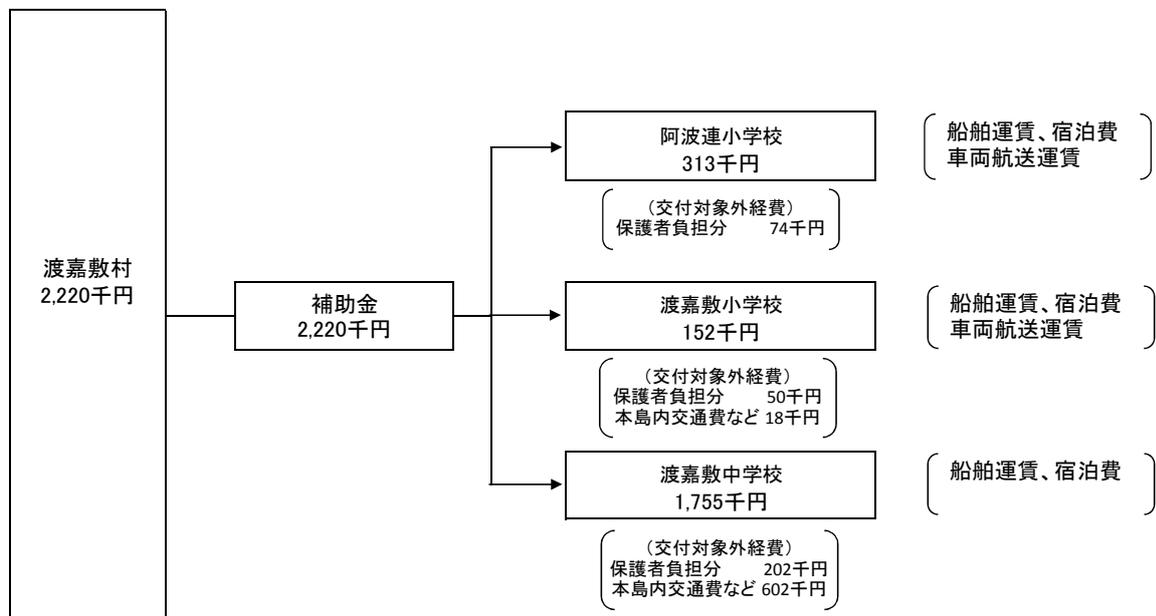
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	スポーツ大会において、早期敗退による派遣期間の短縮や荒天による船舶の欠航により派遣人数が減少した。 大会等に児童・生徒を派遣するに当たっては、県大会等上位大会に勝ち進める競技力等の向上を図る必要がある。	部活動における外部指導者等の招聘に取り組むことにより、児童・生徒の競争意識を更に高め、より質の高い練習を行うことで県大会等上位大会に勝ち進める競技力等の向上を図る。

**今後の取り組み方針**

村外で実施されるスポーツ大会や文化事業発表会などの各種教育活動に児童・生徒が継続して参加することで、各種大会等への参加が容易で競争意識が強い本島校に対し、離島小規模校の教育的なハンディである競争意識が弱い傾向の克服に繋げる。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,166	2,220	1,776	444	946



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、渡嘉敷村立学校校外派遣事業交付規程に基づき、事業主体である各学校に支給していることや、派遣費の用途については精算時において支出等に関する書類により確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、各種派遣事業が学校行事等計画書に基づき必要経費が算出されており、適正であったと考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者負担については、渡嘉敷村立学校校外派遣事業交付規程に基づいて保護者からの一律負担となっており、妥当であったと考える。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・用途については、大会開催期間、場所に応じた合理的な交通機関や宿泊施設を利用しており、事業目的達成の観点から必要なものを支給していたため、妥当であったと考える。

市町村名		渡嘉敷村							
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】									
事業番号・事業名	4 渡嘉敷村学校施設環境整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-5-(2)-ア				
	担当部課名	教育委員会 教育課		事業実施(予定)年度	平成27年度	沖縄振興基本方針該当箇所			
					Ⅲ-3-(1)				
事業内容									
亜熱帯地域である沖縄においては、1年のうち高温・多湿の状況が長期的である。沖縄の地理的特殊性に起因する学校施設の学習環境を改善するため、未整備となっている小中学校の普通教室等に冷房設備を設置する。									
実施方法									
<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )									
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
		(a) 当初予算額		3,715					
		(b) 予算現額		3,986					
		(c) 増減額 (b-a)		271					
		(d) 繰越額		-					
		A. 計 (b+d)			3,986				
		B. 執行済額			3,985				
		うち交付金充当額			2,972				
		次年度繰越額			0				
		執行率 (%) (B/A)			100%				
予算の状況の説明		単価等見直しにより9月補正で不足分の予算271千円を増額した。 事業内容は計画どおりに執行を行った。 事業計画において記載した「沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所」欄の第3章-3-(3)-ウが誤っているため、第3章-5-(2)-アに訂正した。							
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況						
			27年度	28年度	29年度	30年度			
	冷房設備設置工事 渡嘉敷小中学校(6教室)	目標	( 設置工事実施 )	( )	( )	( )			
		実績	設置工事完了						
		目標	( )	( )	( )	( )			
		実績							
達成状況説明	渡嘉敷小中学校の普通教室:5教室、特別教室:1教室に冷房設備を設置した。								
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)		
	快適な学習環境の確保 (室内温度28度)	目標	( )	( 28度 )	( )	( )	( )		
		実績		28度					
		目標	( )	( )	( )	( )	( )		
		実績							
	進捗状況説明	平成27年12月に冷房設備設置工事が完成したので、平成27年度中の冷房設備の使用は無かった。使用時は室内温度を28度に保つことにより、夏季における教室内の快適な学習環境が確保できる。							

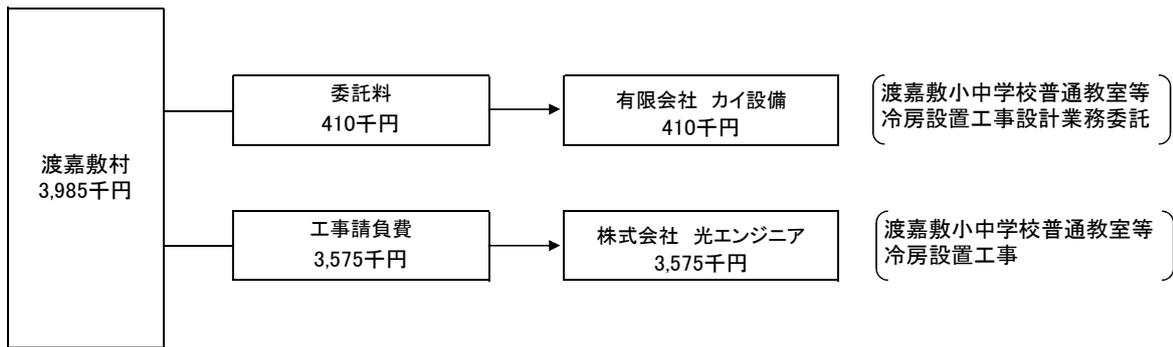
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	亜熱帯地域である沖縄においては、1年のうち高温・多湿の状況が長期的であり、沖縄の地理的特殊性に起因する学校施設の学習環境を改善するため、未整備となっている渡嘉敷小中学校の普通教室等6教室に冷房設備を設置したことにより、教室内の快適な学習環境の維持や児童・生徒の健康が保持されることで、授業における集中力が増し学力の向上が図れる。	台風襲来後等の室外機等の清掃管理を行うとともに、冷房設備の使用時期、設定温度を徹底して管理することが求められる。

**今後の取り組み方針**

冷房設備の長寿命化を図るには、台風襲来後等の室外機等の清掃管理を行うとともに、維持管理費の軽減に繋がる冷房設備の使用時期、設定温度を徹底して管理する取組を行う。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,985	3,985	2,972	1,013	0



資金の流 れ、費 目 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は渡嘉敷村財務規則の規定により、2社以上の見積りで選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○工事請負業者についても、同規定による指名競争入札が不調となったことに伴い、地方自治法施行令第167条の2第1項第8号の規定により随意契約を行っており、妥当であったと考えている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○予算規模については、工事費等の積算を単価等に基づいて行っており、妥当であったと考える。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、用途については、設計委託及び工事実施段階で工程管理を行っており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

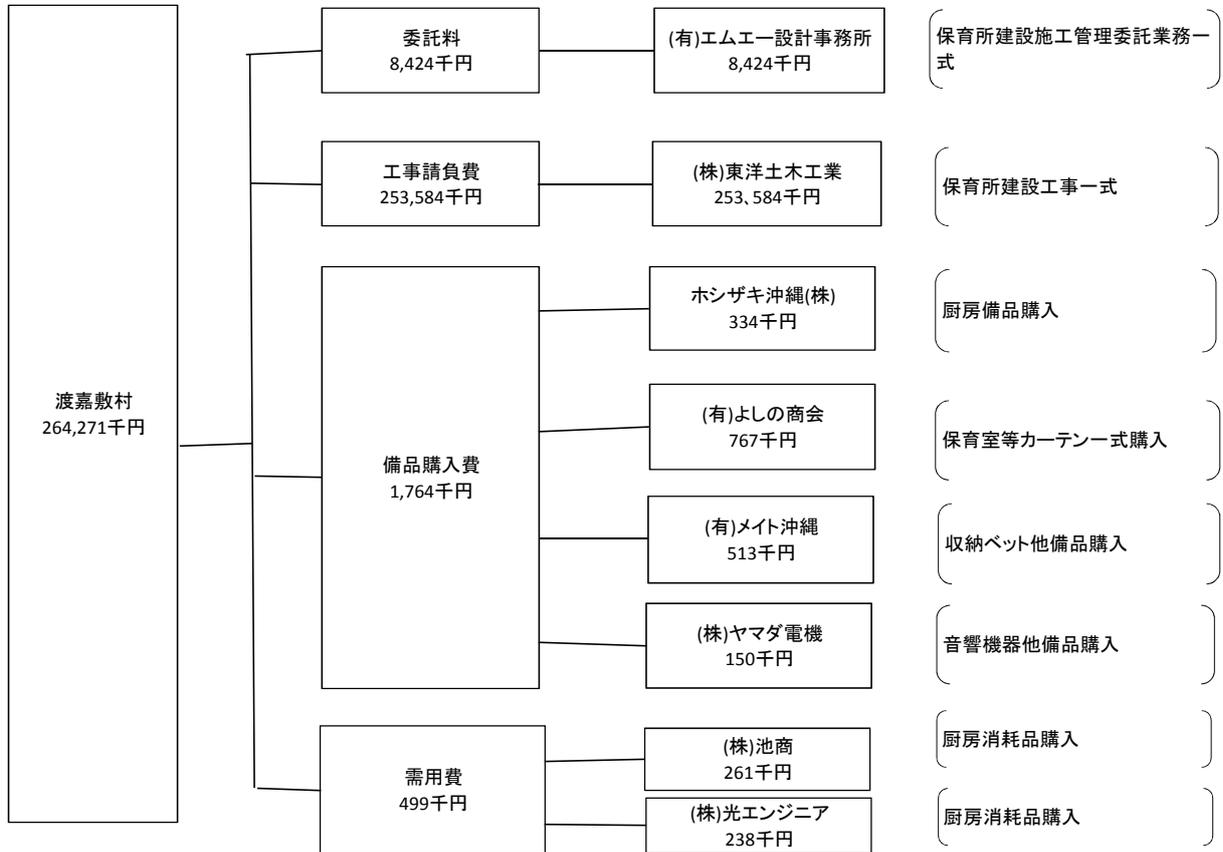
市町村名		渡嘉敷村					
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5	渡嘉敷村保育所整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-イ	
担当部署名	民生課	事業実施(予定)年度	平成26~27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	地域における子育て支援の充実		
事業内容	本村のへき地保育所は築30年以上経過しており、老朽化が進行している。幼児が安心・安全で快適に過ごすことができる新しい耐震基準を満たす保育所を整備し、多様化した保育ニーズに対応出来る保育環境を確保し、保護者の子育てと就労が両立できる環境を促進する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	214,914	255,421			
		(b) 予算現額	15,660	264,751			
		(c) 増減額(b-a)	▲199,254	9,330			
		(d) 繰越額	—	—			
	A. 計(b+d)		15,660	264,751			
	B. 執行済額		15,660	264,271			
	うち交付金充当額		12,528	206,151			
	次年度繰越額		—	—			
	執行率(%) (B/A)		100.0%	99.8%			
予算の状況の説明		単価入替により予算が不足したため、5月に9,330千円を流用して増額した。執行済額の不要額は、備品購入の見積結果により金額が下がったため。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	渡嘉敷村立保育所の開所に向けた、建設工事の実施	目標	( 建設工事 )	( )	( )	( )	
		実績	建設完了				
		目標	( )	( )	( )	( )	
実績							
達成状況説明	工事については、平成27年6月18日に発注し、平成28年3月13日に完成した。建物の構造は、RC造2階建 建築面積350.83㎡となっている。備品として、設備備品の収納ベットやカーテン、厨房備品のオープンや炊飯釜を購入した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	平成27年度供用開始にむけた渡嘉敷村立保育所の完成	目標	( )	( 保育所の完成 )	( )	( )	( )
		実績		保育所の完成			
	厨房、施設備品等の購入	目標	( )	( 購入 )	( )	( )	( )
		実績		購入			
進捗状況説明	平成28年3月13日に完成。平成27年度内の共用を目標としていたが未達成。平成28年度より開所し、認可保育所として活用している。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>老朽化したへき地保育所に変わり、新たな認可保育所が完成し平成28年度より運営を開始する。認可保育になり、給食の支給、またクラスの増加など保育士の確保が必要。</p>	<p>初の認可保育運営となるので、保育士及び従事者の質の向上を図る必要がある。特に給食の支給は、幼児に合わせ、またアレルギー用と分けての調理となるので最新の注意が必要がある。</p>

今後の取り組み方針
<p>保育士の離職を防ぐためにも職務形態の改善し確保に努め、保育士の質の向上の研修への参加。より安全な給食の提供のための、調理員の調理研修などへの参加をする。</p>

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
264,271	264,271	206,151	58,120	0



資金の流れ、費目・点検項目	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流れ、費目・点検項目	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事請負業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○委託業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○備品購入は3社または2社見積りで選定しており、妥当であったと考えられる。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○予算規模は工事費の単価入替があったが、適正な規模であり妥当であった。 ○費目、使途については、支出等に関する書類により確認し、適正であったと判断した。

市町村名	渡嘉敷村						
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6	渡嘉敷村観光資源創出事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章3-3-(12)-ア	
担当部署名	教育課	事業実施(予定)年度	平成27年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興 Ⅲ-10-(1)	
事業内容	渡嘉敷島の豊かな自然環境を伝える新たな観光資源を創出し、観光客等の更なる誘致促進を図るため、渡嘉敷島で発見されたゴマファザラシの全身剥製標本と骨格標本を作製し、全身剥製標本は港待合所に展示し、歴史的に貴重な骨格標本は村立民俗資料館に展示する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	<b>予算の状況</b>	(a)当初予算額	1,400				
		(b)予算現額	2,673				
		(c)増減額(b-a)	1,273				
		(d)繰越額	-				
		A.計(b+d)	2,673				
	<b>執行の状況</b>	B.執行済額	2,673				
		うち交付金充当額	2,138				
		次年度繰越額	0				
	執行率(%) (B/A)	100%					
予算の状況の説明	当初アザラシの全身剥製標本のための製作を予定していたが、全身骨格標本と標本を保管・展示する際に必要なアクリルケースの製作を追加したため、12月補正により増額変更した。						
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	H27活動目標(指標)	達成状況					
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	ゴマファザラシの全身剥製標本と骨格標本の作成	目標	( 剥製標本1体、骨格標本1体 )	( )	( )	( )	
		実績	剥製標本1体、骨格標本1体				
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	当初の予定通り、ゴマファザラシの全身剥製標本及び全身骨格標本を作成した。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	H27成果目標(指標)	基準値(26年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)	
	ゴマファザラシの全身剥製標本と骨格剥製標本を作製し、歴史民俗資料館で保管、展示することにより、入館者の増加を図る。	目標	( )	3月入館者数150名	( )	( )	
		実績		3月入館者数163名			
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
	進捗状況説明	ゴマファザラシの全身剥製標本及び全身骨格標本が作成され納品されたのが平成28年3月であり、展示をしていた期間は短かったが入館者数は前年度より増加していることから、標本を展示したことによる入館者数の増加があったものと考えられる。引き続き広報活動等を行い、更なる入館者数の増加を図っていく。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>沖縄地方には生息していないゴマフアザラシが渡嘉敷村で発見された。極めて稀な事から、島の自然の豊かさを後世に伝えていくとともに、観光資源の1つとして観光客等の更なる誘致を図るために、全身剥製標本、全身骨格標本の作製に取り組んだ。</p>	<p>渡嘉敷村でゴマフアザラシが発見されたこと、また、全身剥製標本と全身骨格標本が展示されている事などをより多くの方に周知する必要がある。</p>

**今後の取り組み方針**

全身剥製標本を人の目につく港ターミナル内に展示することにより、観光客等のクチコミ等による知名度の向上を図る。また、全身骨格標本が歴史民俗資料館内に展示されていることも看板等で広報し、歴史民俗資料館の入館者数の増加につなげていくような取組をしていく。  
全身骨格標本については、村立歴史民俗資料館に以前より展示されているザトウクジラの骨格標本とあわせて広報等に活用していく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
2,673	2,673	2,138	535	0



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>・特殊な委託業務内容であることから、県内には受注できる事業者なく、随意契約により契約を行った。決定業者については県立博物館等での納品実績もあることから適当であったと考えている。</p> <p>・予算規模については、剥製製作という特殊な業務であったが業務工程や仕上がり等を見ても妥当であるとする。</p> <p>・費目・用途については、剥製製作に必要な作業のみで実施されており、適正に処理されていると考える。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	